

山城国淀石川家『忠總公以来組士家譜』（元禄16年）

越坂， 裕太
九州大学附属図書館付設記録資料館古文書・古記録部門

<https://doi.org/10.15017/7443950>

出版情報：九州大学附属図書館研究開発室年報．2025/2026， pp. 77-99， 2026-10-06．九州大学附属図書館

バージョン：

権利関係：Creative Commons Attribution-NonCommercial-NoDerivatives 4.0 International



山城国淀石川家『忠總公以来組士家譜』（元禄16年）

越坂 裕太[†]

【抄 録】 山城国淀藩主石川家のもとで元禄16年（1703）時点の情報に基づき翌年作成された『忠總公以来組士家譜』6冊（九州大学附属図書館付設記録資料館所蔵）の構成や記述方式を分析し、石川家中の「組士」188家の系譜や履歴を一覧化する。

【キーワード】 『忠總公以来組士家譜』、山城国淀藩、石川忠總、「伊勢亀山藩石川家文書」

An Archival Introduction to *the Kumi-shi Kafu* (1703): Retainer Genealogies of the Ishikawa Clan of Yodo in Yamashiro Province

KOSHISAKA Yuta

1. はじめに

九州大学附属図書館付設記録資料館（法制資料部門）所蔵の山城国淀石川家『忠總公以来組士家譜』（以下、『家譜』と略す）6冊について検討する。

本資料は、九州帝国大学附属図書館が昭和2年（1927）6月25日に東京の一誠堂書店（酒井宇吉）から購入し、法文学部、次いで法学部において管理されてきた「伊勢亀山藩石川家文書」（以下、「石川家文書」と略す）27部38冊の中に含まれる¹。

この「石川家文書」については、近年、福田千鶴氏による研究の中で目録化がなされており²、同氏は『家譜』6冊にも言及し、「近世前期の石川家の家臣団がわかるとともに、堀尾家や大久保家の改易後に石川家に召し抱えられた家臣たちの履歴もわかる³」と評価した。近世大名石川家に関しては、大名家ないし藩庁組織の下で作成された記録群のまとまった伝来が確認できず⁴、亀山市歴史博物館（三重県亀山市）が収蔵する家臣文書においても⁵、家臣団に関する情報を網羅的に集約した記録は少ない⁶。このような状況をふまえるならば、同家が淀に在城した元禄16年（1703）時点での総数188家におよぶ「組士」の系譜と履歴をまとめた『家譜』は、江戸前期における石川家の家臣団形

[†] こししか ゆうた 九州大学附属図書館付設記録資料館古文書・古記録部門
（〒819-0395 福岡市西区元岡744） E-mail: koshisaka.yuta.960@m.kyushu-u.ac.jp

1 和仁かや・山根泰志・宮嶋舞美「九州大学法制史料：九州帝国大学法文学部の学問基盤」（『法政研究』91-4、2025年）、768・779頁。なお、図書受入命令書の摘要欄から、「石川家文書」の購入依頼者は、法文学部の「憲法」講座である（同論文「別表1」、768頁）。

2 福田千鶴「石川家文書に伝来する堀尾家・大久保家関係文書について」（『学習院大学史料館紀要』29、2023年）、76頁の表1。

3 註2福田論文、88頁の注5。

4 『三重県史 資料編 近世2』（三重県編、2003年）は、九州大学附属図書館所蔵「石川家文書」を唯一の石川家伝来文書として扱う。

5 「近世・近代・現代史料データベース」URL: https://kameyamarekihaku.jp/sisi/RekisiHP/x_siryu_database.html（『ウェブ亀山市歴史資料編（2011版）』、亀山市史編さん歴史合同部会・亀山市・亀山市歴史博物館）にて閲覧した（最終閲覧日：2026年7月1日）。

6 「四組名頭知行高歳附（寛保元年改）」（亀山市歴史博物館所蔵加藤家文書、『三重県史 資料編 近世2』史料121）。なお、山田木水『亀山地方郷土史』第二巻（三重県郷土資料刊行会、1971年）が家臣個別の履歴を多く取り上げており、同第三巻（1974年）「亀山藩職制と其席高及人名」でも江戸後期を中心とした石川家中の職制に関する基本情報をまとめる。

成を分析する上で有益な情報を提供し、基礎資料としての位置づけにあるといつてよい。

しかし、淀や亀山をはじめ石川家累代の旧領地から離れた九州大学において収蔵されたこともあってか、『家譜』は若干の研究利用を除き⁷、広く認知・活用されてきたとはいえない状況にある。幸いなことに「石川家文書」は、近く資料のデジタル画像がWEB公開される予定であるため、アクセス環境の向上にともない、資料の利用促進や再評価が期待される。これを機会に『家譜』全体の構成を提示することで、資料の利用環境を整えることを本稿の目的としたい。

以下では、2で『家譜』の資料分析に基づく概要を述べ、3で収録された人物名を一覧化する。紙幅の都合上、全文翻刻や詳細な個別履歴の提示は叶わなかったが、デジタルアーカイブとの併用を念頭に、本稿が人名検索機能を担うことを意識した。「貴重資料デジタルアーカイブ」(附属図書館所蔵の文庫・文書群等の目録および資料のデジタル画像検索システム、https://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_browse/rare/)が提供するデジタル画像とあわせて活用いただきたい。

2. 『忠總公以来組士家譜』の概要

2.1. 構成

『家譜』6冊の現状としては、管理上の資料名称が統一されず、請求記号も番号が離れているため、本来6冊一体であった原状の構成が見えづらくなってしまっている⁸。そこで、内容や記載順序をふまえて構成を復元し直すと、次のように整理できる⁹(Kj 16-W-1の現状は4冊合帙)。

- ① Kj 18-I-11「忠總公御代以来 御組頭・御年寄家譜」(以下、「組頭・年寄家譜」と略す)
- ② Kj 18-I-13「忠總公御代以来 石川伊織組士家譜」(以下、「石川伊織組士家譜」)
- ③ Kj 16-W-1「忠總公御代以来 近藤杢右衛門組士家譜」(以下、「近藤杢右衛門組士家譜」)
- ④ Kj 16-W-1「忠總公御代以来 加藤新五右衛門組士家譜」(以下、「加藤新五右衛門組士家譜」)
- ⑤ Kj 16-W-1「忠總公御代以来 和田五右衛門組士家譜」(以下、「和田五右衛門組士家譜」)
- ⑥ Kj 16-W-1「忠總公御代以来 淀・江戸 石川権兵衛(以下15名略)家譜」(以下、「組外家譜」)

まず、①「組頭・年寄家譜」は、元禄16年当時、組頭役を勤めた4名(石川伊織・近藤杢右衛門・加藤新五右衛門・和田五右衛門)と年寄役を勤めた4名(市川数馬・名川六郎右衛門・伊奈求馬・加藤武兵衛)、計8名の家譜を収録する。記載順序は役職ごとの先任順と考えられ、組頭役の場合には、石川伊織(寛文6年〈1666〉就任)→近藤杢右衛門(寛文12年〈1672〉)→加藤新五右衛門(貞享元年〈1684〉)→和田五右衛門(元禄2年〈1689〉)と配列される。

②～⑤「(①の組頭の名前)組士家譜」は、組頭役4名の下に編成された組に属する「組士」を収録しており、②は石川伊織組41名(うち、「詰衆」11、「役人」14)、③は近藤杢右衛門組41名(うち、「詰衆」16、「役人」6)、④は加藤新五右衛門組41名(うち、「詰衆」18、「役人」4)、⑤は和田五郎右衛門組42名(うち、「詰衆」18、「役人」9)である。

そして、組内の構成はいずれも3集団に分けられる。②を例に説明すると、まずは、先乗¹⁰[平岩安太夫350石]→肝煎役[権太五太夫200石]→物頭役[石川治部右衛門300石・酒井忠弥300石]

7 小坂絢子・三好瑛子・川戸博・前田利隆・八木淳夫「翻刻『寧国斎談叢』(正徳二年、松林某編)」「『亀山文化』3、2018年)、越坂「出雲堀尾家の「名字御相続」：揖斐高清楚「公期覚書」翻刻と解題」(『学習院大学史料館紀要』32、2026年)。

8 縦29.5・横21.5cmの堅帳で素紙表紙(本文と同一の料紙)に題箋を張り付けるといった共通の形態的特徴を持ち(ただし、後掲註9に記すように「石川伊織家譜」のみ改装表紙)、「元禄十六癸未年九月」の年記を確認できる。また、表紙・本文ともに同一の筆跡である。以上から、6冊が同一シリーズであることは明白といえる。

9 「九大コレクション」および註2福田論文中の目録は、次の請求記号・資料名によって表記している。

- ・Kj 18-I-11「石川伊織家譜」
- ・Kj 18-I-13「忠總公御代以来石川伊織組士家譜」
- ・Kj 16-W-1「[忠總公御代以来]組士家譜」(福田目録は「組士家譜他三冊合帙」) ※堅帳4冊

ただし、Kj 18-I-11の名称「石川伊織家譜」は改装表紙の外題に拠っており、石川伊織のみならず組頭・年寄8家の情報を収録する内容からも、適切な資料名と認めがたい。よって、原装表紙の題箋(糊外れ、資料中に挟み込み)から「忠總公御代以来御組頭・御年寄家譜」とするのが適当だろう。また、Kj 16-W-1は4冊合帙のため統一的な資料名で管理されるが、福田氏が指摘するように、各冊題箋が原題を示すと考えられるため、こちらを資料名としたい。それぞれ「忠總公御代以来 加藤新五右衛門組士家譜」、「忠總公御代以来 近藤杢右衛門組士家譜」、「忠總公御代以来 和田五右衛門組士家譜」、「忠總公御代以来 淀・江戸 石川権兵衛・佐治清六郎・乗松十太夫・新松太郎・宮部友右衛門・板倉権六郎・生嶋佐右衛門・本間伊平太・谷禰庵・川崎左衛門・鹿野弥太右衛門・浅田勘六郎・奥村加助・原金平・池田利伯 家譜」と確認できる。

上記をふまえ、以下では原題を尊重し、①～⑥の資料名を採用することにした。

10 「参政家の当職に非ざるもの、又有功の士が特に此職に補せられた」(ただし天保期の説明、註6『亀山地方郷土史』三、59頁)。

の役職者、次いで家中¹¹および家中並席〔石川甚太夫350石・烏山六郎左衛門200石・新武助150石・田嶋五左衛門150石・岡村金太夫150石・鈴木牧之丞100石・坪井七左衛門100石・山田市之進100石・烏山丈右衛門80石・高木十右衛門80石（・芦谷吉三郎¹²60石）・佐伯作左衛門50石〕の順に記載され、同一役職・席内では知行高の多い順、さらに知行高が同じ場合は役職・席内の先任順となる。なお、この集団を指す呼称は資料中に見られない。2つ目は「詰衆」と明記される集団で、役職に着目すると、不明（儒者・医者カ）の岩田宗鉄→用人役〔平井加兵衛〕→大目付役〔中川半之丞〕→祐筆所頭取役〔豊泉吉左衛門〕→大小姓〔長尾久太夫〕→祐筆所〔岡小兵衛〕→賄役〔岡彦六郎〕→虎間並〔近藤了三〕→祐筆役〔多田弥平次〕→勝之公付〔高瀬源左衛門〕→お幸様付〔福原長左衛門〕となるが、実際には200石〔岩田〕→150石〔平井・中川・豊泉〕→100石〔長尾・岡庄兵衛・岡彦六郎〕→80石〔近藤〕→70石〔多田〕→50石〔高瀬・福原〕と、知行高順に配列したようである。3つ目も「役人」と明記され、役職上は、儒者と思われる佐藤玄養→京屋敷留守居役〔神谷与右衛門〕→代官役〔大羽喜左衛門〕→大坂留守居役〔酒井次太夫〕→勘定頭役〔平井金右衛門〕→知行蔵役〔中田勘右衛門〕→代官役〔多良弥市左衛門〕→鉄砲櫓役〔小寺郷助〕→武具預役〔市橋作太夫〕→細工所役〔伊原惣兵衛〕→水主支配役〔池上紋右衛門〕→山奉行役〔平井市兵衛〕→金土蔵役〔山田与五兵衛〕→勘定頭役〔浅田勘兵衛〕となるが、「詰衆」同様、100石〔佐藤・神谷・大羽〕→80石〔酒井・平井・中田〕→60石〔多良〕→50石〔小寺・市橋・伊原・池上・平井・山田・浅田〕と知行高順の配列と見てよいだろう。

上記の3集団の区別としては、1つ目が旗奉行・先乗・物頭など軍事組織に由来する役職名が多く、戦国期以来の軍事体制を基盤とする武家職制の特性を読み取れる。これに対し、2つ目の「詰衆」は御殿へ日常的に詰めて当主・家族に対する詰め奉公を果たしており、さらに3つ目の「役人」は、勘定・代官など内政・支配面や組織経営の実務を担い、勤務地も淀・江戸・京都・大坂と区々だった。「組士」の本来的な存在形態は1つ目の軍事的側面に見出せようが、近世武家社会の展開とあわせ、「詰衆」や「役人」らを取り込みつつ、家中における昇進階梯にも多様性が生まれたと推察できる。

最後の⑥「組外家譜」には、元禄16年当時、②～⑤の組から外れた「組外」の15名（うち、「江戸」6）を収録する。①～⑤と比較した際の特徴は、15名のうち13名が「給米」と記される切米取りであった点である。ただし、先代まで知行取りで、本来的には組入りを期待される家筋でありながら、当代が幼年・若年であるなどの理由で、一時的に給米・扶持を支給されている事例が多いようである¹³。ほかには、当主妻付として特例的に虎間¹⁴格を与えられた者2名も確認できる。また、知行取り2名も含まれるが、いずれも代々組頭役を輩出する家筋の者である¹⁵。このように、特殊な事情や由緒を反映し、一時的であれ、「組外」と位置付けて管理される必要があった者の存在は注目されよう。

なお、『家譜』に収録されるのは、⑥を除けば、基本的に「知行〇石」と記される知行取り（ただし蔵米知行）のみである。このことから、知行取りであることが「組士」の要件であったが、一方で、給米・扶持階層だった下級武士の家譜記録の有無については、現時点で不詳とせざるをえない。家譜記録の作成・管理における階層性の問題についても注視すべきといえよう。

以上、『家譜』の構成から、元禄16年当時の石川家では、組頭4名・年寄4名が執政を担っており、組頭の下に4つの組が編成されて、人柄の管理が行われる体制を確認した。ただし、本稿では、組体制の運用実態や「組士」として課された勤役負担の具体像につき未検討であるため、今後の研

11 「散官であって匹馬、単槍の戦士であって隊長に分属し級を三級に分け（以下略、大寄合・寄合・小寄合に分けたという）」（同上、70頁）。

12 『家譜』では記載を欠くが、「家中並」だったと考えられる。芦谷吉三郎（5歳）は、父里右衛門の知行100石から60石に減知となったものの、元禄14年5月に3歳で跡目を認められた。『家譜』中に示された事例の多くが当主幼少の場合の知行を認めず、扶持・給米を与えて一旦組外（後述）とするが、特例的に3歳の吉三郎による知行を認めたようである。

13 このほか、先代の急死、自主的に知行差上を願った、永暇などといった理由を確認できる。

14 「藩士の青年初任の職である。専ら朝参扈從し、文武を専習し壮士を以て自任し、又親衛隊の戦士であった」（ただし天保期の説明、『亀山地方郷土史』三、72頁）。

15 石川権兵衛（先乗役・300石）と佐治清六郎（奏者役見習・350石）は、家督時に「組外」を仰せつかったことを確認できる。なお、両名とも後には組頭をつとめた（註6『亀山地方郷土史』三、46頁）。

究に俟ちたい。

2.2. 記述の方式

次に、『家譜』の記述方式に検討を加える。

以下に示すのは、①「組頭・年寄家譜」冒頭の「石川伊織家譜」である。

石川伊織家譜

祖父 石川伊織^{義精}

初名加毛藤太郎、後御名字被下
石川藤太夫、或淡路其後伊織ト改

日向守家成公ヨリ

- 一、主殿頭忠總公江奉仕、御知行千石被 下、組頭御役被 仰付、大坂兩御陣御供相勤、主殿頭憲之公勢州龜山江御所替之刻七十六歳之時、奉願御供仕、翌年承応元壬辰年九月廿日七十七歳ニテ死、

父 石川伊織^{精積}

(履歴省略)

^{五十九歳}

当 石川伊織^{光精}

初八十郎、藤太郎

- 一、憲之公江四十五年以前万治二己亥年十二月十三日、十五歳ニテ御小姓被 召出、御扶持方段々被 下置候、
一、三十九年以前寛文五乙巳年、父相果、跡目無相違六百石被 下置、
一、三十八年以前同丙午年七月廿一日、二十二歳之時元服仕、組頭御役被 仰付、
一、御役料貳拾五俵、江戸詰之節ハ五拾俵被 下之、

(嫡子「石川藤太郎」、養子「石川久米之丞」、履歴省略)

ノ

(「父兄 石川八郎兵衛」以下 9 名略)

以上、

このように、『家譜』では、家ごとに「(元禄16年当時の当主名) + 家譜」と記した上で、各家の男性構成員ごとに履歴を書き上げていく形式をとる。石川伊織家を例に見ると、当代の伊織光精から見て祖父に当たる伊織義精に始まり、父の伊織精積→当代の伊織光精→嫡子の藤太郎(元禄14年死)→養子の久米之丞と、歴代当主と当代の男子までを記し、「ノ」で区切った上で、「父兄(精積の兄)」の八郎兵衛以下9名の一門を順に記している。

各人物の個別情報は、一つ書きで履歴を書き上げていくが、伊織義精の履歴を見ると、主殿頭忠總に奉仕して1000石の知行を下され、組頭役を仰せつかった。大坂兩陣で供を勤めた。続けて、次代の主殿頭憲之に対しては、慶安4年に近江国膳所から伊勢国龜山への移転時に76歳で供を願ったが、翌年死去した、と記される。また、当代の伊織光精の履歴では、「四十五年以前万治二己亥年」のように、元禄16年の翌宝永元年(元禄17・1704)を起点として「〇年以前」とする年代記述となっており、『家譜』編集時から逆上の視点で記述されていることもわかる。

そして、個別の履歴においては、誰に召し出されて奉公したかという点が記されるが、ここで思い返したいのは、『家譜』各冊の原題において「忠總公御代以来」と明記されていた点である。つまり、『家譜』が石川忠總を起点に据え、それ以後の石川家当主歴代に対する奉公を記載対象とする方針を持ったことを確認できる。

忠總は、大久保忠隣の子男だが、石川家成の娘を母に持ったため、慶長5年(1600)の関ヶ原合

戦後に徳川家康の命で石川を称した。家成嫡子で伯父の康通が同12年に死去していたため、同14年に祖父家成が死去すると、家康の命で石川家の美濃国大垣城5万石を継ぐこととなった¹⁶。こうした経緯をふまえれば、石川家譜代の家臣にとっては、忠總よりもむしろ家成や康通への奉公を重視する向きもあったはずだが、『家譜』では、あくまで忠總への奉公が始点となる。石川伊織義精は家成期から奉仕した経歴を持つが、その経歴は、「日向守家成公ヨリ」と、簡潔に補記されるのみにとどまる。

なお、『家譜』の中では石川忠總以後の歴代当主・嫡子に加え、家成・康通には「公」の敬称を付して記載されるが、同様に忠總の祖父・実父・実兄にあたる大久保忠世・忠隣・忠常、さらに、忠總の嫡子廉勝妻の父で、2代憲之の祖父に当たる堀尾忠晴に対しても「公」が付される。この4名が、石川家当主に準じて扱われているのは、上記の血縁関係に加え、石川家において、大久保家・堀尾家の旧臣を多数受け入れていたことが背景にあると考えられる。相模國小田原城主だった大久保忠隣は慶長19年（1614）に改易となり、出雲国松江城主だった堀尾家も寛永10年（1633）に忠晴が死去したことで無嗣断絶となっており、その旧臣の一部が石川家に召し出されていた。石川家成・康通、大久保忠世・忠隣・忠常、堀尾忠晴に奉仕した経歴は、「忠總公御代以来」の石川家に奉公する前史として、「相模守忠隣公ヨリ」のように簡潔ながら各家の経歴の冒頭に記されており、独自の帰属意識を醸成していたのだろう。

以上、『家譜』は、近世大名石川家の始祖として忠總を起点にする編集方針がとられており、忠總以後の歴代当主に対する奉公を記述の対象とする。したがって、忠總以前の石川家歴代への奉公や、始祖・氏姓・本貫地などの出自に関する情報は省かれている。さらに付け加えると、関ヶ原合戦や大坂の陣における華々しい戦功も記述対象となっていない。忠總以後歴代への奉仕状況としては、召出、家督、役職の就任年、扶持・給米・知行高の別などの情報を通じて個人の昇進階梯や家格として継承される過程が重点的に記録されており、この点で、藩制下における近世武士の職制を管理するための記録としての側面を見出すこともできる。

こうした『家譜』の編纂過程については関連資料が残らず、詳らかでないが、次の断簡「（芥川家勤書）¹⁷」の存在から、元禄16年9月に各家から提出された記録に基づき作成されたと判断できる。

（前欠）

（第 芥川大三郎）

一、二十六年以前延宝六年午十二月日不相知、御断申上、江戸江罷下、
甲府様江御小十人二被 召出、其後御家退、四年已前元禄十三辰二月十八日ヨリ儀絶仕罷
在候、

世倅 芥川文助

一、四年已前元禄十三辰年式拾壹歳二而相果申候、

年拾歳罷成候 芥川他人
年八歳罷成候 芥川権吉
年四歳罷成候 芥川松之助
年二歳罷成候 芥川又吉

以上、

元禄十六癸未九月

芥川大助

近藤奎右衛門殿

これは元禄16年9月付で、芥川家当代の大助から組頭近藤奎右衛門に提出された書上の控であり、提出年月からも、『家譜』作成のために提出されたとみてよい。1箇条目は、芥川大助の弟大三郎に

16 『寛政重修諸家譜』の「石川忠總」。

17 亀山市歴史博物館所蔵芥川家文書1-9（前掲注5『ウェブ亀山市史』の「近世・近代・現代史料データベース」にて閲覧）。

関する履歴で、「御断」の上で江戸に出て「甲府様」（松平綱豊）の小十人に召し出されるも立退き、さらに四年前に実家との縁も切った（「儀絶」とする。『家譜』③収録の「芥川大助家譜」では、同人の履歴を「一、二十六年以前延宝六午年十二月御断申上、江戸江罷下ル、甲府様江被 召出候処、其以後立退浪人仕候、／一、四年以前元禄十三辰年十二月十八日儀絶仕ル」と記しており、上記とほぼ同文である。したがって、『家譜』は、各家より提出された書上をほぼそのまま収録する形で編集されたとわかる。この他に『家譜』編纂に関連する資料は管見に入らないが、おそらく藩当局は、家中に対し何らかの指示や編纂方針を示した上で書上の一斉提出を命じており、それを受けて、組ごとに取りまとめられたと考えてよいだろう。

また、同様に天和4年（1684）正月付で芥川大助が組頭近藤左右衛門に提出した書上の存在も確認できるが¹⁸、こちらも断簡ながら、確認できる範囲の記載内容は、『家譜』の収録文に合致する。よって、元禄16年の『家譜』編纂に際し、各家では、既存の天和4年書上に情報更新を加える形で書上を作成し、提出された点も指摘できる。

石川家中における『家譜』編纂事業の全容解明は今後の課題とせざるをえないが、以上から、憲之の当主時代、少なくとも天和4年と元禄16年の2度にわたり、書上が提出された形跡があり、とくに後者の書上をもとに編集した記録が『家譜』だったとすることができよう。

3. 『忠總公以来組士家譜』に見える人物名一覧

以下では、『家譜』に掲載された人物名について、資料における記載順に一覧化する。ただし、紙幅の都合上、採録した情報は限定的である。デジタルアーカイブとの併用を前提とし、『家譜』全体の構成を示すとともに、家臣団の人名検索機能を担うことを念頭に作成した。

〈凡例〉

- ・ 「○○家譜」内で、苗字が○○に一致する人物については、人物名の苗字を省略した。
- ・ 「○年以前」や干支で表記された年については、年号に改めて記載した。改元年の出来事については、月日の判断がつかない場合は改元後の年号を使用した
- ・ 元禄16年時点での当主（以下、当代と称す）に限り、年齢、別称、家督・跡目や役職等に関する事項と年代、知行高もしくは給米高・扶持の情報を記載した。また、当代の人物名の前には「◎」を置き、全体を太字で示した。

例) ◎人物名（年齢／別称／家督・跡目や役職等に関する事項とその年／最終的な知行高もしくは給米高・扶持）

- ・ 歴代当主（当代除く）は、別称、死去年と年齢、知行高の情報のみを記載した。また、人物名を太字にした。

例) 人物名（別称／死去年・年齢／最終的な知行高もしくは給米高・扶持）

- ・ 忠總以後の石川家当主歴代に召し出される以前に、石川家成（忠總の養父、実は母方祖父）・康通（忠總の伯父）、大久保忠世（忠總の祖父）・忠隣（忠總の実父）・忠常（忠總の兄）、堀尾忠晴（忠總嫡子石川廉勝妻の父、2代憲之の祖父）に仕えた経歴を持つ人物は、資料中でも特記されるため、「※」の後に情報を補った。

例) 人物名 ※○○ヨリ（別称／死去年・年齢／最終的な知行高もしくは給米高・扶持）

- ・ 資料中では、当代の息子を「嫡子」「二男」「三男」・・・と区別しており、個別の履歴や出仕・養子に関する記事も散見するが、すべて省略し、人物名のみ採録した。石川家に出仕した経歴を有する人物名は太字にした。
- ・ 資料中では、当代もしくは当代の息子の後に「メ」で区切った後に、歴代当主の兄弟などの一門に関する履歴を記している。別家を立てた者を中心に詳細な記事も散見するが、すべて省略し、人物名のみ採録した。石川家に出仕した経歴を有する人物名は太字とした。

18 「（芥川家勤書）」芥川家文書1-12。

①「忠總公御代以来 御組頭・御年寄家譜（元禄十六癸未年九月）」[Kj18-I-11]

・石川伊織家譜

祖父：伊織義精 ※家成ヨリ（加毛藤太郎、石川藤太夫、淡路、伊織／承応1死・77歳／1000石）、父：伊織精積（藤太郎、藤太夫／寛文5死・52歳／600石）、◎伊織光精（59歳／八十郎、藤太郎／万治2召出・小姓、寛文5跡目、同6元服・組頭役／600石、役料25俵・江戸詰之節50俵）、子：藤太郎、久米之丞／八郎兵衛、虎松、右衛門兵衛、平太夫、六郎左衛門、六角堂池坊、山路十良太夫、加藤七太夫、堀内林右衛門

・近藤杢右衛門家譜

祖父：杢右衛門幸綱 ※忠隣ヨリ（徳千代、作之右衛門／寛文8死・90歳／500石）、父：杢右衛門幸次（三九郎、勘右衛門、水右衛門／寛文12死・58歳／100石）、◎杢右衛門幸親（54歳／徳千代、外記／寛文2召出・小姓、同9半元服、同10元服・奏者役、同12跡目・組頭役／500石、役料25俵・江戸詰之節50俵）、子：外記、和田伝八郎、吉田半兵衛、浩徳院、下村市太郎、岡村金太夫／左近右衛門、三良右衛門、作之右衛門、七左衛門、庄右衛門、与右衛門、源之丞、平岩源助

・加藤新五右衛門家譜

曾祖父：若狭秀貞 ※家成ヨリ（新七郎、新五右衛門／寛永5死・80歳／600石）、祖父：新五右衛門由生 ※康通ヨリ（内膳、新七郎、作之右衛門／寛文7死・78歳／600石）、父：斎院秀顕（右源太、采応／元禄8死・69歳／600石）、◎新五右衛門光隆（40歳／城之助、小刑部／延宝8召出・小姓、天和3元服・奥間詰・江戸奏者加番、貞享1家督・組頭役／600石、役料25俵・江戸詰之節50俵）、子：新七郎／三右衛門、十郎兵衛、松井長四郎、三八郎、隼之丞

・和田五右衛門家譜

曾祖父：五右衛門 ※忠世ヨリ（名乗不知／寛永4死・73歳／300石）、祖父：五右衛門正次 ※忠隣ヨリ（勘助／正保2死・66歳／300石）、父：五右衛門正寔（勘助、久恵／元禄2死・70歳／500石）、◎五右衛門朝義（56歳／友之助、勘助／寛文2召出・小姓、寛文9元服・近習詰・御用達、同年奥間番入、天和2用人・番組、元禄2組頭役・家督、同10山城国公儀絵図御用／500石、役料25俵・江戸詰之節50俵）、子：伝八郎、四郎三郎／伝五左衛門、伝五左衛門、宗太郎、与次郎、大吉、宮松

・市川数馬家譜

祖父：作右衛門（寛永17死・84歳／150石）、父：作右衛門（祖父作右衛門孫／半次郎、養節／延宝9死・61歳／150石）、◎数馬公忠（60歳／半次郎／明暦3召出・小姓、万治3元服、寛文5年寄役／400石、役料25俵・江戸詰之節50俵）、子：源太夫、西庄助之進、守弥、新平、直記、山村権平、竹次郎／作右衛門、定之進

・名川六郎右衛門家譜

祖父：稲富伝右衛門直俊 ※家成・康通ヨリ（本名は名川／元和5死・48歳／300石）、父：六郎右衛門尚房（弥内、可候／元禄3死・81歳／400石）、◎六良右衛門尚久（56歳／大蔵、丹下／寛文2召出・小姓、同4元服・大小姓、同7奏者役、天和1家督・田中城請取加勢、貞享3年寄役・改名／400石、役料25俵・江戸詰之節50俵）、子：弥内／稲富幸右衛門（津田茂右衛門事）、沢右衛門

・伊奈求馬家譜

祖父：半兵衛 ※忠世・忠隣ヨリ（於日田死・年齢不知／350石）、父：加右衛門正直（平兵衛次男／庄蔵、求馬／寛文6死・66歳／400石）、◎求馬秀正（60歳／源五郎／万治1召出、其後小姓番入、寛文6跡目・年寄役、貞享4永暇、元禄11帰参・年寄役／400石→帰参後300石、役料25俵・江戸詰之節50俵）、子：市左衛門、打田三之丞／平兵衛、亦五郎、加太左五兵衛

・加藤武兵衛家譜

祖父：九良兵衛 ※忠義ヨリ（加藤石見次男／寛文6死・76歳／200石）、父：武兵衛（天和1死・68歳／200石）、◎武兵衛正明（43歳／金平、貞之助／延宝3召出・小姓、同8納戸役、天和1家督・元服・奥間詰、同2用人役・持筒組預、元禄12年寄役／300石、役料25俵・江戸詰之節50俵）、子：次良九郎／与兵衛、源五兵衛、源之助、永野忠兵衛

②「忠總公御代以来 石川伊織組士家譜（元禄十六癸未年九月）」[Kj18-I-13]

・平岩安太夫家譜

祖父：新左衛門 ※康通ヨリ（寛永11死・62歳／250石）、養父：安太夫元連（新左衛門次男／大安／延宝1死・69歳／350石）／◎安太夫（63歳／佐左衛門、先成瀬七右衛門二男／承応3小姓・養子、寛文1小納戸役、同10家督、元服後も小姓並、御目見帳付・奥間詰、延宝4家中並、同8物頭役、元禄2先乗／350石）、子：源助／実方：成瀬宗一郎（七右衛門）／成瀬七右衛門／成瀬友之丞／成瀬仁左衛門

・権太五太夫家譜

祖父：五太夫 ※忠世・忠隣奉仕（正保1死・72歳／200石）、父：五太夫（延宝3死・72歳／200石）、◎五太夫（53歳／寛文4召出・小姓、延宝1奥間・家督、同3家中、貞享2足輕預、元禄8肝煎役／200石）、子：才三郎、作弥／小七郎、辰左衛門

・石川治部右衛門家譜

曾祖父：甚太夫 ※忠世・忠隣ヨリ（慶長13死・50歳／200石）、祖父：甚太夫正盛（寛永13死・38歳／300石）、父：太郎兵衛（元禄11死・77歳／300石）、◎治部右衛門（51歳／寛文10召出・小姓、延宝4大小姓、貞享3奏者番役、元禄4家督、同5家中、同6物頭役／300石）、子：門九郎、亀松／弥五兵衛、寿悦、門太郎、竹右衛門、藤右衛門、六弥

・酒井忠弥家譜

祖父：忠弥（承応2死・57歳／300石）／父：忠弥（元禄10死・61歳／〔300石〕）／◎忠弥（33歳、貞享4召出・小姓、元禄6家督・元服・大小姓、同7家中、同16物頭役／300石）／定右衛門、藤松、山崎弥藤太

・石川甚太夫家譜（先祖之儀石川治部右衛門同前）

父：甚太夫忠言（74歳／寿悦／元禄15隠居／350石→隠居料100石）、◎甚太夫（33歳、貞享1召出・小姓、元禄3元服・大小姓、同7納戸役、同12奏者役、同15家督・家中／350石）、子：大三郎／稲富伝四郎／石川庄右衛門／本郷友弥

・烏山六良左衛門家譜

祖父：六郎左衛門（内藤庄之助／万治1死・57歳／150石）、父：六郎左衛門（元禄五死・46歳／250石）／◎六郎左衛門（25歳／元禄4召出・小姓、同5跡目、同9元服・家中／200石）／庄之助／丈右衛門

・新武助家譜

父：長右衛門 ※堀尾忠晴奉仕（延宝7死・68歳／150石）、◎武助（52歳／寛文6召出・小姓、延宝2昌能付・奥大小姓、同7跡目・家中／150石）、子：文太夫、牧文次郎、豊三郎、反四郎／清右衛門、彦助、平兵衛

・田嶋五左衛門家譜

祖父：小右衛門 ※堀尾忠晴奉仕（寛永20死・43歳／150石）、父：五左衛門（元禄14死・65歳／150石）、◎五左衛門（34歳／元禄2召出・虎間、同9召武具預、同12大小姓、同14跡目・家中／150石）／弥三之丞（高木市右衛門）、高木市太郎、高木宇太夫、星野長太夫

・岡村金太夫家譜

高祖父：左近 ※家成召出（於日田死・年齢不知／200石）、曾祖父：惣左衛門（実父佐々木頼母／天和2死・84歳／200石）、祖父：三郎兵衛（天和3死・57歳／〔200石〕）、養父：惣左衛門（元禄15死・43歳／250石）、◎金太夫（13歳／近藤奎右衛門六男／元禄13養子、同16跡目・家中並／150石）／八郎兵衛、左近

・鈴木牧之丞家譜

祖父：角右衛門 ※忠隣奉仕（慶安3死・62歳／200石）、父：角右衛門（延宝8死・60歳／200石）、◎牧之丞（37歳／延宝8跡目、天和2小姓、元禄1大小姓・家中／100石）／右衛門次郎、丹右衛門、助五郎、酒井残右衛門

・坪井七左衛門家譜

父：七左衛門（万治2死・72歳／100石）、◎七左衛門（68歳／慶安1召出・甚十郎〔石川邦總〕奉公、万治2召出・広間・跡目、同3家中／100石）、子：貞助、安養寺源六郎、文八郎／孫太

夫、伊左衛門、七郎兵衛、伊左衛門、伊左衛門、与左衛門、与次三郎

・山田市之進家譜

祖父：源右衛門（寛文12死・58歳／100石）、父：源右衛門（元禄5死・49歳／〔100石〕）、◎市之進（17歳／元禄5跡目・家中並／100石）✕ 助左衛門

・烏山丈右衛門家譜（先祖之儀は烏山六郎左衛門同前）

◎丈右衛門（52歳／延宝3召出・虎間、天和1昌能付、同2勝之へ奉公、元禄5大小姓、同16定江戸御免・家中／80石）

・高木十右衛門家譜（先祖之儀は高木源五左衛門同前）

◎十右衛門（57歳／延宝2召出・昌能虎間、天和2勝之へ奉公、貞享4守役、元禄3武具預、同5大小姓、同7納戸、腰物・数寄道具預道具預、同9奥詰、同16定江戸御免・家中／80石）

・芦谷吉三郎家譜

曾祖父：吉左衛門 ※堀尾忠晴奉仕（正保4死・年齢不知／200石）、祖父：岡右衛門（寛文11死・61歳）、父：里右衛門（元禄14死・40歳／100石）、◎吉三郎（5歳／元禄14跡目／60石）✕ 谷三得、千之丞、源八郎

・佐伯作左衛門家譜

曾祖父：図書（実ハ高祖父／於大垣死・年齢不知／250石）、祖父：市郎兵衛（実ハ曾祖父承応元死・79歳）、父：作左衛門（実ハ市郎兵衛娘方孫／延宝6死・52歳／100石）、◎作左衛門（46歳／延宝6家督・家中／50石）、子：虎之丞、辰之助✕ 川合犬也、川合左衛門大良（亦右衛門）、新武次郎

【詰衆】

・岩田宗鉄家譜

祖父：茂庵（寛文3死・82歳／100石）／父：宗鉄（延宝8死・67歳／200石）、◎宗鉄（55歳／寛文12召出、延宝8家督／200石）、子：百助、権六郎、貞之助✕ 茂庵、玄庵、別府苦楽

・平井加兵衛家譜

養父：八兵衛（如竹／貞享4死・81歳／70石3人扶持）、◎加兵衛（53歳／実父生田弥兵衛／寛文2養子、同4奉公人分、同9昌能虎間、同10納戸役、同11大小姓、延宝4奏者役、同7納戸役、天和2大目付役・勝之奉公、元禄8用人役、同9腰物・数寄道具預／150石）／子：半藏、生田弥兵衛、勇軒、候之助／与五右衛門

・中川半之丞家譜

祖父：半之丞（慶安3死・61歳／150石）／父：七右衛門（74歳／以松／元禄12死隠居／150石→隠居後5人扶持）、◎半之丞（39歳／貞享2召出・虎間、元禄2大小姓、同7召武具預、同12大目付役・数寄道具預・家督／150石）✕ 久世孫助、千之助、多右衛門、彦次郎、長叔

・豊泉吉左衛門家譜

◎吉左衛門（父ハ日比野市左衛門、板倉周防守殿罷在死ス／66歳／万治3召出・祐筆所、寛文3書物預役、延宝8祐筆所頭取役／150石）、子：奎之助

・長尾九太夫家譜

小左衛門（慶安3死・71歳／350石）、小左衛門嫡子：義太夫（慶安3死・31歳／500石）、◎九太夫（28歳、実ハ伏見御与力大嶋助太夫子／元禄6長尾名跡・召出・虎間、同9大小姓／100石）✕ 市之進、片岡三右衛門、宮崎八良兵衛、大嶋円八郎

・岡小兵衛家譜

父：長兵衛（元禄9死・79歳／100石）／◎小兵衛（49歳／寛文8台所詰、同9越前守〔石川義孝〕奉公、元禄8家督・淀引越・家中、同12祐筆所／100石）、子：小八郎、三之丞✕ 金助、弥二郎、内海清五郎

・岡彦六郎家譜

祖父：久右衛門（寛文11死・71歳、60石）、養父：弥四郎（九右衛門三男／〔友夢〕／元禄14死・72歳、100石）、◎彦六郎（41歳／実父は青木古庵／延宝7京屋敷指置、貞享4広間、元禄1徒目付役、同6家督・家中、同10賄役／100石）、子：友太夫、彦之丞、貞之助✕ 孫四郎、源五郎、六左衛門、六左衛門、仙桂、河端市兵衛、河端市兵衛、彦五郎

・近藤了三家譜

父：了三（元禄1死・75歳／15人扶持）／◎了三（53歳／貞享2召出・広間並、貞享3虎間並／80石）、子：了貞、豊之助

・多田弥平次家譜

父：平太夫（天和3死・75歳／12石2人扶持）、◎弥平次（36歳／貞享2召出・物書所、貞享3広間、元禄6祐筆役／70石）／閑碩、喜太夫

・高瀬源左衛門家譜

祖父：九兵衛（寛永15死・85歳）、父：喜左衛門（延宝4死・73歳、8石5斗2人扶持）、◎源左衛門（53歳／寛文11召出・百人組、寛文13江戸御供・右筆所詰案文等認・袴御免、延宝3物書所・玄猪召出、元禄10祐筆所詰見習、同16勝之付／50石）、子：貞助／茂右衛門、作右衛門

・福原長左衛門家譜

◎長左衛門（父ハ中川善兵衛ト申者ニテ在所勢州川嶋村／69歳／寛文5召出・持筒組、延宝1買物役、同2昌能奉公、同5味噌蔵役、天和1米蔵役、元禄1桑名屋手代立会買物役、同7お幸付／50石）、子：伝六郎

【役人】

・佐藤玄養家譜

父：玄養（元禄9死・70歳／100石5人扶持）、◎玄養（42歳／季庵／貞享1召出、元禄5家督／100石）／稲富伝右衛門、津田良安、市川理兵衛、佐藤千之助

・神谷与右衛門家譜

伯父：与次兵衛（万治1死・53歳／70石）、父：与次兵衛（伯父与治兵衛弟／元禄6死・81歳／70石）、◎与右衛門（61歳／寛文2召出・広間・定江戸、同3昌能抱守、同11虎間、延宝7武具預役、天和3勝之守役・武具預役、元禄3家中、同5京屋敷留守居役／100石）、子：小次郎／忠左衛門、三上団助

・大羽喜左衛門家譜

父：五郎左衛門（延宝5死・61歳）、◎喜左衛門（53歳／寛文1召出・禿、寛文8販元服、同11元服・御家中、同12書物預役、元禄1家中、同4鉄砲預役、同9家中、同13代官役／100石）、子：半九郎／五次兵衛、喜平次、杉田亦助、安田勝左衛門、円水

・酒井次太夫家譜

◎次太夫（59歳／古主岡部美濃守殿／寛文10召出・虎間、延宝7定江戸詰、元禄5家中・淀引越、同14大坂留守居役／80石）、子：半平、甚左衛門

・平井金右衛門家譜

父：間野右衛門（元禄8死・77歳／80石）、◎金右衛門（52歳／寛文9召出・勘定所、延宝2金銀賄役、同5勘定所、天和3扶持蔵役、貞享1勘定所、同2家督・勘定頭役／80石）、子：小伝次／治兵衛、弥五郎、田中津右衛門、金六

・中田勘右衛門家譜

祖父：意清（寛永19死・年齢不知）、父：本斎（70歳／元禄8隠居、花畑御用／80石→隠居後2人扶持）、◎勘右衛門（35歳／貞享1召出・広間、元禄3徒目付役、同8家督・広間小頭役・知行蔵役、同12勘定役、同15知行蔵役／80石）、子：内蔵之助／政右衛門

・多良弥市左衛門家譜

祖父：与惣兵衛 ※家成ヨリ（明暦3死・75歳／8石2人扶持）、父：安右衛門（一安／元禄5死・86歳／13石2人扶持）、◎弥市左衛門（59歳／寛文2召出・広間・式部〔堀尾勝明〕付・定江戸詰、同6式部抱守、延宝1虎間並・式部腰物・衣類等之役、元禄1式部死後剃髪・遺骨ニ付淀へ、同2家中・代官役／60石）／長次郎、紋太夫、九太夫、半内

・小寺郷助家譜

祖父：庄兵衛 ※家成ヨリ（慶安2死・64歳、100石）、養父：六兵衛（元禄2死・59歳／100石）、◎郷助（32歳／元禄1養子、同2跡目・家中、同8鉄砲櫓役／50石）

・市橋作太夫家譜

祖父：作兵衛 ※家成召出（慶安3死・75歳／70石）、父：作兵衛（祖父作兵衛次男／樂斎／元禄

- 3死・79歳／40石)、◎作太夫(59歳／寛文5召出・広間、延宝6徒目付役、貞享1武具預役、同4家督／50石)、子：六右衛門、林武治右衛門、何かし、何かし、大原宗四郎、五郎三良
- ・伊原惣兵衛家譜
養父：惣兵衛(寛文8死・年齢不知／50石)、◎惣兵衛(49歳／実父鈴木八右衛門／寛文6召出・台所詰、同8家督、同10元服・家中並、天和2御殿奉行役、貞享4細工所役／50石)
- ・池上紋右衛門家譜
◎紋右衛門(63歳／父ハ池上古斎、浪人ニテ膳所亦是亀山罷有相果ル／承応3召出・坊主、寛文2還俗、同3広間、寛文10虎間並・書物預・祐筆所番等、天和1舟水主支配役、貞享4永暇、元禄11帰参・家中・水主支配役／70石→帰参後50石)、子：半八郎、孫三郎
- ・平井市兵衛家譜
祖父：庄次郎※康通・家成奉仕(慶安4死・76歳)、父：曾左衛門(元禄1死・77歳／11石3人扶持)、◎市兵衛(60歳／万治3召出・物書役、寛文5広間、同9昌能付、延宝3部屋目付役、天和2勝之守役・淀で憲之へ奉公・扶持蔵役、同3広間、貞享4武具蔵役、元禄2御殿奉行・中間頭役、其後、山奉行役／50石)、子：三右衛門、国枝熊次郎、国枝平兵衛、木崎市右衛門、西村伝助
- ・山田与五兵衛家譜
父：与五兵衛(慶安3死・42歳／15石3人扶持)◎与五兵衛(59歳／寛文8召出・広間、貞享3徒目付役、同12武具蔵役、同15金土蔵役／50石)、子：源七郎、数兵衛、柴山兵右衛門、源兵衛、柴山兵太夫、柴山左五兵衛、岡右衛門、藤兵衛、吉右衛門
- ・浅田勘兵衛家譜
父：勘兵衛(寛文11死・57歳／100石)、◎勘兵衛(39歳／父勘兵衛4男／延宝1召出、寛文8台所詰、天和2勘定所、元禄7賄役、同15勘定頭役／50石)、子：八十郎、小林武左衛門、兵助、長十郎、助六郎

③「忠總公御代以来 近藤奎右衛門組士家譜(元禄十六癸未年九月)」[Kj 16-W-1]

- ・新弥右衛門家譜
父：儀左衛門(丹三郎／承応1死・62歳／500石)、◎弥右衛門(70歳、父儀左衛門三男／慶安2忠總召出・小姓・近習、慶安4大小姓、寛文5納戸役、延宝3大目付役・数寄道具預、天和2腰物預役・広間支配、元禄2物頭役／200石)、子：三左衛門、生嶋平太夫、八幡山法童坊孝宣、法童坊、儀左衛門(素反)、権兵衛、小源次
- ・滝見助右衛門家譜
祖父：助右衛門※家成・康通ヨリ(慶長14死・70歳／125石)、父：助右衛門※家成・康通ヨリ(寛永14死・57歳)、◎助右衛門(71歳／慶安1召出・小姓、家中、万治3代官役、寛文1普請奉行、同9家中、延宝8物頭役、貞享3郡代奉行職、家中、元禄5作事奉行役、同7奉行職・百人組三十人預、同12物頭役／200石)、子：源蔵、庄之助
- ・柘植佐五左衛門家譜
祖父：又兵衛※康通ヨリ(永夢／年齢不知)、父：佐五左衛門(永夢次男／慶安3死・64歳／200石)、◎佐五左衛門(60歳／慶安3跡目・家中、寛文11代官役、天和1作事奉行役、元禄15物頭役／150石)、子：紋右衛門、松三郎、六兵衛、長左衛門
- ・星野新助家譜
祖父：長太夫※康通ヨリ(明暦4死・77歳／110石)、養父：新助(寛文8死・49歳／210石)、◎新助(48歳／実方兄村田伝右衛門／寛文8召出・奉公人分・家督・家中並、寛文11小姓、元服後小姓並、延宝2昌能付・大小姓並、奏者役、同8家中／210石)、子：長太夫、里右衛門、安並佐太夫、兵太夫
- ・加藤七太夫家譜(先祖別レ等石川伊織同前)
◎七太夫(52歳／寛文6召出・小姓、其後、髪番・薬役、延宝1元服・其俣小姓、同3奥間、天和1加藤之名跡・家中／200石)、子：左膳

- ・半田小平次家譜（先祖同姓忠太夫同前）
◎小平次（48歳／寛文10召出・小姓、延宝3用人役、天和2奏者役、元禄2家中／200石）、子：甚平
 - ・伴安兵衛家譜
祖父：九郎左衛門 ※堀尾忠晴奉仕（寛永17死・年齢不知／100石）、父：安兵衛（元禄8死・70歳／200石）、◎安兵衛（34歳／天和2召出・小姓、元禄6元服・奥詰、同5髪番・引出預、同4跡目・家中／200石）✕ 九郎左衛門、弥三右衛門、佐忠太、勝弥、半田亦右衛門
 - ・近藤伊太夫家譜
祖父：七郎左衛門（延宝7死・92歳）、父：伊太夫（元禄8死・69歳／100石）、◎伊太夫（31歳／元禄6召出・虎間、同8勝之付・跡目・家中／150石）、子：宇源太✕ 吉十郎、浅右衛門、十蔵
 - ・西村初右衛門家譜
父：彦右衛門（延宝6死・63歳／100石）、◎初右衛門（53歳、彦右衛門次男／寛文11召出、延宝1虎間、延宝4家中／150石）、子：孫十郎、他之進✕ 彦右衛門、順任
 - ・村岡小源太家譜
祖父：茂兵衛（慶安3死・54歳／100石）、父：茂兵衛（〔年齢不記〕／元禄6隠居／100石・隠居後2人扶持）、◎小源太（38歳／延宝7召出・小姓・昌能付、天和2大小姓・勝之付、元禄6表召返・跡目・家中／100石）、子：次郎三郎✕ 理右衛門、初太夫、半蔵
 - ・天野三五太夫家譜
父：三十郎（延宝7死・69歳／100石）、三十郎嫡子：兵太夫（貞享4死・43歳／12石2人扶持）、◎三五太夫（55歳／延宝2召出・虎間、延宝7家督、元禄2家中・惣鉄砲預、同4家中／100石）、嫡子：熊之助（11歳）✕ 半弥、黒田寿軒
 - ・山本奎太夫家譜（祖父山本五郎右衛門は相模守忠隣公へ奉仕）
父：奎太夫（万治2死・61歳／100石）、◎奎太夫（60歳／寛文1召出・虎間、同9昌能付、大小姓、天和2勝之付、元禄3越前守〔石川義孝〕付、同6表婦・家中番勤、同7淀引越・家中／100石）、子：半五郎、紋弥✕ 十兵衛、余語市右衛門
 - ・浪切加平太家譜（先祖ハ相模守忠隣公へ奉仕）
祖父：加兵衛（寛文3死・63歳／150石）、父：加兵衛（元禄16死・73歳）、◎加平太（32歳／元禄6召出・虎間、同7勝之付、同8家督・同9家中／100石）✕ 下木孫兵衛、時右衛門
 - ・八木岡喜太郎家譜
父：与左衛門（元禄4死・46歳／150石）、◎喜太郎（16歳／元禄4跡目・家中並／75石）
 - ・松井兵次郎家譜（祖父ハ相模守忠隣公へ奉仕候由）
父：勘左衛門（寛文3死・67歳／60石）、◎平次郎（67歳／万治2召出・広間、寛文3家督・家中、同9代官役、同10家中、同11武具蔵役、延宝5家中、貞享3土蔵役、元禄5家中／60石）✕ 源六郎、山本良卜、安右衛門
 - ・犬甘市左衛門家譜
祖父：市左衛門（寛永15死・64歳／200石）、父：市左衛門（寛文4死・29歳／100石）、◎市左衛門（47歳／寛文5跡目、延宝2元服・家中番入／50石）
 - ・寺田兵右衛門家譜
祖父：半兵衛 ※忠隣奉仕（寛永9死・60歳）、父：与太夫（81歳／元禄9隠居／100石、隠居後2人扶持）、◎兵右衛門（26歳／元禄9家督・家中／50石）
 - ・芦谷九郎右衛門家譜（父ハ芦谷庄右衛門、宇治ニ罷在候）
◎九郎右衛門（41歳／貞享4召出・広間、元禄6徒目付役、元禄8広間小頭、同15家中／50石）
 - ・星弥市右衛門家譜（先祖は忠隣奉仕）
祖父：弥市右衛門（元禄5死・75歳／50石）、父：弥市右衛門（元禄13死・53歳／50石）、◎弥一右衛門（23歳／元禄12召出・勝之広間、同14跡目、同16表・家中／50石）✕ 又十郎
- 【詰衆】
- ・佐藤喜八郎家譜
祖父：喜右衛門（寛文10死・年齢不知／120石）、父：喜右衛門（元禄7死・62歳／200石）、◎喜

- 八郎（24歳／元禄6召出・小姓、元禄7家督・家中、同8小姓／200石）、子：喜十郎、九郎兵衛
- ・市川源太夫家譜（先祖之儀同姓数馬ヨリ書出ス）
 - ◎源太夫（37歳／天和1召出・小姓、貞享3大小姓、元禄2奏者役、其後用人役／150石）
 - ・久米武太夫家譜

祖父：武太夫 ※家成・康通ヨリ（寛永18死・77歳／200石）、父：武太夫（寛文1死・60歳／100石）、◎武太夫（52歳／寛文2家督・家中並、同7元服・家中番勤、同11虎間、同12大小姓、延宝2昌能付、死後家中、貞享3大目付役・数寄道具預、元禄2徒頭役・腰物預／150石）、子：市平次、十次郎
 - ・塚本武左衛門家譜

曾祖父：与右衛門 ※忠世・忠隣奉仕（寛永17死・82歳／100石）、祖父：打右衛門（与右衛門嫡子／寛永3死・41歳／100石）、父：打右衛門（78歳、打右衛門嫡子／元禄16隠居／150石）、◎武左衛門（40歳／延宝8憲之召出、虎間・越前守〔石川孝義〕付、元禄6表・虎間、同7勝之付、同9大小姓、同16家督・表召返・定江戸・家中／150石）、六左衛門、久太夫、助右衛門、平八郎
 - ・長沢良節家譜

祖父：市郎右衛門（寛文2死・64歳／14石3人扶持）、父：良節（元禄10死・54歳／100石）、◎良節（30歳／元禄9召出・京都ニテ学問、同10跡目／100石）、栗山源助、栗山平蔵、鈴木団四郎
 - ・井口常右衛門家譜（先祖之儀同姓茂太夫同前）
 - ◎常右衛門（48歳／寛文8召出・禿、寛文12小姓・番入、同2昌能付・大小姓、其後納戸役、天和2勝之腰物・数寄道具預・納戸役、元禄9お幸付／100石）
 - ・懸下三太夫家譜

祖父：清助 ※堀尾忠晴奉仕（正保1死・年齢不知／100石）、祖父嫡子：清助（寛文12死・年齢不知／50石）、父：三太夫（祖父次男／元禄12死・61歳／100石）、◎三太夫（32歳／実ハ当近藤新左衛門弟／貞享4養子、元禄1召出・式部〔堀尾勝明〕虎間、同2父と大坂蔵屋敷、同10虎間、同12跡目／100石）、子：清太郎
 - ・高木大蔵家譜

曾祖父：権兵衛（於佐倉死・65歳／200石）、祖父：儀右衛門（藤左衛門次男／寛文8死・年齢不知／150石）、父：儀右衛門（祖父養子、実ハ川澄善左衛門次男／元禄13死・61歳／200石）、◎大蔵（17歳／元禄13跡目、同15小姓／100石）、左平太、小四郎、卜斎、権兵衛、永野弥三郎、永野忠兵衛、永野忠三郎、加左衛門、川澄彦太夫、川澄佐太夫、小野紋左衛門、川澄善左衛門、中村加兵衛、川澄善左衛門、川澄正乙、川澄清助、僧自耕
 - ・加藤角太夫家譜
 - ◎角太夫（28歳／元禄8召出・虎間、〈同9兼而弓稽古仕候ニ付、〉同11大小姓、同16大矢数仕新知／100石）
 - ・佐藤元右衛門家譜

父：佐左衛門（尾張家奉仕、浪人後病死）、◎元右衛門（63歳／延宝2召出・虎間、同3書物預、天和2勝之奉仕、元禄1憲之書物預、同3守役、同7大小姓・武具預／80石）、子：龍太郎、三郎右衛門
 - ・成宮伝兵衛家譜

祖父：弥左衛門 ※石川康通・家成ヨリ（寛永13死・65歳／70石）、弥左衛門嫡子：新蔵（延宝3死・76歳）、父：伝兵衛（元禄8死・77歳／50石）、◎伝兵衛（46歳／延宝3召出・広間、天和1徒目付、元禄6家督・広間小頭役、同16お直付・虎間格・江戸罷下／50石）、奎左衛門、飯村辰助、彦七郎
 - ・小林兵五郎家譜

祖父：仁左衛門 ※家成・康通ヨリ（寛永20死・年齢不知／13石3人扶持）、父：兵五郎（明暦3死・52歳／7石5人扶持）、◎兵五郎（63歳／明暦3召出・足輕小頭代、寛文1肴部屋役、後、金銀銭賄、蔵役、代官役、知行蔵、十日番、用達、知行蔵役、賄役、代官役、勘定頭、検地御用、貞享2賄役、元禄5江戸定詰賄役／80石）、子：仁左衛門、輪助、服部十内

・石川久米之丞家譜（先祖并別レ同姓伊織同前）

祖父：右衛門兵衛（延宝6死・61歳／200石）、実父：右衛門兵衛（元禄10死・33歳／150石）、◎久米之丞（17歳／元禄11跡目・家中並、同13小姓、同15伊織養子／75石）✕ 藤助、三弥

・都石伊助家譜

高祖父：内匠（豊後ニテ死）、曾祖父：三九郎（寛永15死・年齢不知／250石）、祖父：与五兵衛（実父林太郎左衛門ト申者也、由良信濃守殿ヨリ知行給候由／貞享1死・75歳／100石）、父：伊助（元禄9死・56歳／70石）、◎伊助（20歳／元禄9跡目・家中、同16勝之付・虎間／50石）✕ 全三郎

・堀毛武右衛門家譜

父：与三兵衛（天和3死・63歳／12石2人扶持）、◎武右衛門（54歳／実父昼屋助左衛門／寛文4召出・十日番、同8物書役、延宝8賄方御用、天和3山城代官役／50石）、子：良庵、与惣兵衛、大石長八郎、長五郎、五郎助✕ 善八郎、孫八郎、伊藤十良右衛門

・増田勝太夫家譜

祖父：小兵衛（万治2死・75歳）、父：次郎兵衛（73歳／13石2人扶持）、◎勝太夫（46歳／寛文12召出・勘定所、天和1物書役、貞享3賄方役、元禄8定江戸賄役／50石）、嫡子：豊次郎、西川次郎三郎

【役人】

・芥川大助家譜

祖父：貞右衛門（正保1死・57歳／150石）、父：貞右衛門（寛文10死・45歳／100石）、◎大助（47歳／寛文10家督・家中並、其後、大坂・大津蔵御用度々相勤、天和1代官役、元禄3参勤供、同4代官、国絵図御用、同15郡代奉行職・百人組預／150石）、子：文助、他人、権吉、松之助、又吉✕ 奎右衛門、安右衛門、平右衛門、大三郎

・塚本佐次右衛門家譜

曾祖父：与右衛門 ※忠世・忠隣奉仕（寛永17死・82歳／100石）、祖父：久太夫（与右衛門三男／寛文1死・72歳／100石）、父：安左衛門（久太夫嫡子、実ハ兄／無久／元禄8死・79歳／100石）、◎佐次右衛門（53歳、久太夫次男／寛文11召出・虎間、同12昌能付、延宝2大小姓、同7腰物・数寄道具預、昌能逝去後、勝之奉仕、貞享1家督・家中、元禄2大目付・数寄道具預、同12家中、同13砂留役、同15作事奉行／150石）、子：佐一郎✕ 打右衛門、六左衛門、助右衛門

・名倉勘左衛門家譜

曾祖父：弥右衛門 ※家成ヨリ（知行・年齢不知）、祖父：権助 ※康通・家成ヨリ（膳所ニテ死／100石）、父：勘左衛門（権助次男／延宝4死・46歳／100石）、◎勘左衛門（38歳／延宝4跡目、同8小姓、天和2主税〔義孝〕付、同3召返・大小姓、貞享2家中、元禄10代官役／70石）✕ 藤四郎、織右衛門

・松本伝十郎家譜

祖父：仁右衛門（寛文7死・57歳／8石2人扶持）、父：林鐘（66歳／元禄8隠居・花畑詰／60石→隠居後2人扶持）、◎伝十郎（40歳／延宝8召出・台所詰、天和1広間、元禄8徒目付役、同9家督、同15武具預役／60石）、辰之丞✕ 権助、仁平次、久保沢戸右衛門、直右衛門、彦四郎、若林茂左衛門、虎之丞

・笹嶋三右衛門家譜

父：角兵衛（天和3死・76歳）、◎三右衛門（52歳／延宝1召出・広間・江戸定詰、天和1定江戸御免・徒目付役、貞享3代官役／50石）、子：角兵衛、三五郎、鉄之助✕ 東右衛門、村山平八郎

・村居太左衛門家譜

祖父：太左衛門 ※忠隣ヨリ（慶安3死・56歳／25石4人扶持）、父：太左衛門（元禄6死・69歳／50石）、◎太左衛門（38歳／貞享1召出・広間・定江戸詰、元禄1定江戸御免、同5徒目付役、同7家督、同8家中、同12金土蔵役／50石）、子：大三郎、弥太郎、貞五郎

④「忠總公御代以來 加藤新五右衛門組士家譜（元禄十六癸未年九月）」[Kj 16-W-1]

・高本源五左衛門家譜

祖父：与五右衛門 ※忠隣ヨリ（250石）、父：与五右衛門（寛文6死・55歳／250石）、◎源五左衛門（61歳／父次男／明暦2召出・小姓、万治2髪役、寛文6元服・奥間、天和2大目付役・数寄道具預、貞享3広間支配・腰物預、元禄2物頭役／200石）、子：左源太、与五右衛門、中川石之助、勝弥、作太夫、右衛門太郎、次郎左衛門、十郎兵衛、八郎右衛門、紅林源右衛門、光徳寺、藤左衛門、隼之助、堀和角之丞、十右衛門

・山崎孫之丞家譜

養父：儀兵衛重胤 ※忠隣奉仕（儀左衛門、長栄／寛文3死・77歳／300石）、◎孫之丞（54歳／長栄養子実ハ孫／寛文2召出・小姓、同3家督・家中、延宝8肝煎役、天和1物頭役、元禄2逼塞、同6赦免・家中、同9物頭役／250石）、子：虎之丞、八郎右衛門、甚五兵衛、原与左衛門、政右衛門、原縫之助

・加藤善太夫家譜

祖父：善太夫 ※康通奉仕（寛永12死・59歳／150石）、父：善太夫（天和2死・63歳／200石）、◎善太夫（42歳／延宝3召出・小姓、天和3跡目・大小姓、貞享1家中、元禄2大小姓、同3召武具預、同5奏者役、同12物頭役／200石）／三右衛門、三右衛門、三右衛門、勘兵衛、勘兵衛、久米之助、五左衛門、香取半右衛門

・稲富伝右衛門家譜

曾祖父：伝右衛門 ※家成・康通ヨリ（元和5死・48歳／300石）、祖父：伝右衛門（天和1死・75歳）、父：伝右衛門（73歳／可休／元禄15隠居／300石→隠居後2人扶持）、◎伝右衛門（30歳／実ハ当佐藤玄養弟／元禄1召出・小姓、同7養子、同10元服・大小姓、同12納戸役、同15家督・家中／300石）、子：伝之助、平次郎、名川六郎右衛門、藤左衛門、津田孝安、万之丞、伝四郎

・牧藤左衛門家譜

祖父：志摩 ※堀尾忠晴奉仕（明暦3死・68歳）、父：十左衛門（元禄8死・50歳／250石）、◎藤左衛門（29歳／元禄5召出・虎間、元禄7勝之付、同8大小姓、同9跡目・家中／250石）／市郎左衛門、久米之丞

・細木監次郎家譜

祖父：弥次之助 ※康通ヨリ（慶安3死・58歳）、父：右近右衛門（祖父甥／承応2死・34歳）、養父：高木与次左衛門（当高木大蔵曾祖父ノ嫡子／卜斎／寛文10死・76歳／200石）、与次左衛門嫡子：高木権兵衛（寛文5死・36歳）、◎監次郎（59歳／明暦3召出・小姓、寛文6養子・家督・細木名乗、同9元服・家中／200石）、子：弥次之助、内藤甚之助、了尊

・磯部加左衛門家譜

祖父：加左衛門 ※堀尾忠晴奉仕（正保3死・62歳）、父：加左衛門（延宝3死・52歳／300石）、◎加左衛門（39歳／延宝3跡目半知・家中並、貞享2虎間、同4大小姓、元禄3召武具預、同6家中／200石）、子：吉三郎、長尾小八郎、飯尾市兵衛

・徳森伊兵衛家譜（先祖徳森伝次右衛門同前）

父：伊兵衛（徳森伝次郎次男、万治2死・54歳／250石）、◎伊兵衛（52歳／万治2跡目・家中並、寛文6小姓、延宝1元服・小姓並勤、同3大小姓、同4家中／200石）、子：孫四郎

・山本十之丞家譜

祖父：十兵衛（寛永14死・47歳／250石）、父：十兵衛（天和1死・48歳／150石）、◎十之丞（41歳／延宝5召出・小姓、天和1跡目・家中／150石）／李太夫、政之助、十助

・高橋八郎太夫家譜

祖父：庄右衛門 ※康通奉仕（寛永11死・52歳／300石）、父：庄右衛門（寛文2死・34歳／100石）、◎八郎太夫（45歳／寛文2跡目・家中並、延宝3虎間、延宝8大小姓、貞享元家中／150石）、子：大四郎、山本紋弥、小四郎

・猪野勝右衛門家譜

父：三郎左衛門（正保1死・42歳／200石）、◎勝右衛門（63歳／正保1跡目、万治1元服・家中、寛文10代官役、家中／100石）、子：文右衛門、岡田宗九郎、定右衛門

・芦川権之丞家譜

父：太右衛門（寛文7死・71歳／100石）、◎権之丞（58歳／寛文4召出・虎間、同7跡目・家中、延宝2宗旨改役、天和3家中／100石）✕ 又兵衛、加藤金五右衛門

・酒井佐太夫家譜

祖父：徳右衛門 ※家成ヨリ（死年月不知・96歳）、父：儀太夫（慶安4死・62歳／100石）、◎佐太夫（68歳／慶安5跡目・家中、寛文2鉄砲櫓役、延宝1江戸詰、同7鉄砲櫓役、天和2家中／100石）、子：残右衛門✕ 弥五助、文太夫

・増田太兵衛家譜

祖父：太郎右衛門 ※家成ヨリ（寛永6死・72歳／200石）、太郎右衛門次男：弥平次（寛永15死・35歳／200石）、父：与兵衛（太郎右衛門五男／直入／元禄5死・71歳／100石）、◎太兵衛（42歳／天和3召出・虎間、元禄4家督・家中／100石）✕ 久右衛門、治兵衛、伝右衛門、儀右衛門

・太久保市郎右衛門家譜

祖父：十郎右衛門（承応2死・67歳／300石）、父：新七郎（元禄11死・74歳／200石）、◎市郎右衛門（31歳／元禄9家督・家中／100石）✕ 五郎八郎、十兵衛、十郎右衛門

・井口惣兵衛家譜

◎惣兵衛（65歳／寛文10召出・勘定所、延宝3賄役、同5勘定所・検地御用、同7勘定頭、元禄15家中／80石）、子：善右衛門、善次郎、庄三郎

・岡鉄之助家譜

祖父：角左衛門 ※忠隣奉仕（明暦1死・齢不知／150石）、父：角左衛門（元禄11死・45歳／100石）、◎鉄之助（10歳／元禄11跡目／70石）、高橋民之助

・山中為右衛門家譜

父：武兵衛（天和1死・85歳）、◎為右衛門（62歳／寛文2召出・虎間、同9昌能付・定江戸詰、天和2憲之奉仕、貞享4家中・武具預役、元禄3鉄砲預、同5家中／70石）、子：官八郎✕ 松田祐仙、成就院

・西村彦兵衛家譜

祖父：彦兵衛（延宝1死・69歳／11石2人扶持）、父：彦兵衛（元禄6死・56歳／80石）、◎彦兵衛（25歳／元禄6跡目・家中並、同10家中・番入／60石）✕ 彦右衛門、伝兵衛、孫右衛門

【詰衆】

・川上権助家譜

父：権助（万治2死・56歳／250石）、◎権助（50歳／万治2跡目・家中並、寛文10召出・小姓、延宝1元服・小姓並、同3大小姓、延宝8奏者役、元禄3物頭役・組肝煎役、同7江戸留守居役／300石）、子：半太夫、音弥、助之進、勝之進、九置、権八郎✕ 安兵衛、彦三郎

・平岩文左衛門家譜

曾祖父：新左衛門 ※康通ヨリ（寛永11死・62歳／250石）、祖父：新左衛門（象外／寛文5死・65歳／250石）、父：新左衛門（54歳／元禄11隠居／250石→隠居料10石）、◎文左衛門（32歳／実ハ加藤源五兵衛三男／元禄2召出・虎間、同5大小姓、同10用人役、同11家督／250石）、子：多門✕ 次郎右衛門、朝比奈源太郎、安太夫（大安）、民右衛門

・小嶋長右衛門家譜（先祖代々堀尾家ニ奉仕）

養父：忠兵衛（67歳／元禄11隠居／200石→隠居後2人扶持）、◎長右衛門（30歳／実ハ当小泉次郎右衛門養弟／元禄5召出・虎間、同9養子、同11家督・大小姓／200石）、忠兵衛実子：治部左衛門

・名川沢右衛門家譜（先祖之儀兄六郎右衛門同前）

◎沢右衛門（40歳／天和1召出・小姓、貞享2元服・大小姓、元禄3納戸役、同7奏者役／150石）、子：弥内、奥之丞、鍋八郎

・桑子権太夫家譜

祖父：太郎左衛門（寛永6死・42歳／150石）、父：太郎左衛門（元禄4死・75歳／150石）、◎権太夫（57歳／寛文7召出・虎間、同11武具預、天和2奥間詰、貞享1大目付役・数寄道具預、元禄2広間支配・腰物預、同4家督／150石）、子：権太郎✕ 宮地与一太夫

・中山何右衛門家譜

養祖父：何右衛門 ※忠隣ヨリ（寛文4死・齢不知／170石）、父：八右衛門（74歳、実ハ六人部寿仙三男／閑入／元禄12隠居／150石→隠居後2人扶持）、◎何右衛門（36歳／元禄2召出・虎間、同12家督・召武具預、同15大小姓／150石）

・前田菊叢家譜（父は前田道通、京都医師仕罷有）

◎菊叢（35歳／元禄12召出／150石）

・近藤外記家譜（先祖儀父左右衛門同前）

◎外記（24歳／元禄6小姓召出、同14用人役／100石）

・柴田茂次右衛門家譜

曾祖父：理兵衛 ※家成ヨリ（善奏／明暦4死・86歳／150石）、祖父：理兵衛（扇計／延宝2死・74歳／150石）、父：九太夫（寛文1死・40歳）、◎茂次右衛門（46歳／寛文11召出・若狭守〔石川總良〕小姓、延宝1曾祖父理兵衛跡召出・昌能付、元禄6召武具預、同8大目付役・徒目付・広間支配、同9腰物・数寄道具預役／100石）／兵左衛門、武右衛門

・大津守右衛門家譜（先祖之儀兄土左衛門同前）

◎守右衛門（41歳／延宝5召出・小姓、天和3髪番・薬役、貞享1元服・奥間・引出預、元禄12納戸役／100石）

・生田弥兵衛家譜

曾祖父：弥兵衛 ※康通ヨリ（寛永3死・66歳／100石）、祖父：弥兵衛（延宝8死・67歳）、父：弥兵衛（元禄2死・47歳／〔100石〕）、◎弥兵衛（29歳／実ハ平井加兵衛次男／元禄1養子、同2跡目・家中並・小姓、同8髪番・薬役、同12元服・直小姓勤・引出預・奥間詰／100石）／伴権太夫、伴権弥、平井加兵衛、相原清兵衛

・茂久弥六郎家譜

曾祖父：弥六郎 ※忠世・忠隣奉仕（明暦3死・92歳／180石）、祖父：佐五太夫（寛文11死・51歳／〔180石〕）、父：孫八郎（延宝7死・31歳／180石）、◎弥六郎（29歳／延宝7跡目・家中並、同4小姓、同12元服／100石）、子：甚六郎／美沢勾当、美沢権平、又四郎

・柏木豊之助家譜

次郎左衛門 ※忠隣ヨリ（寛永16死・齢不知／100石）、祖父：佐左衛門（次郎左衛門弟／明暦2死・齢不知）、父：豊之助（元禄4死・57歳／100石）、◎豊之助（18歳／元禄4家督・家中並、同16小姓役／70石）／宇左衛門、如山、吉十郎

・安田角之丞家譜

養父：角之丞（明暦3死・81歳）、◎角之丞（60歳／実ハ杉田六左衛門倅／明暦2養子、同3召出・料理所、延宝2昌能付、天和2憲之召返・料理所支配／70石）、子：勝左衛門、万五郎／実父：杉田六左衛門、杉田又助

・横巻立悦家譜

父：甲庵（元禄15死・67歳／70石）、◎立悦（37歳／元禄7召出、同13虎間格、同16跡目／50石）

・藤田庄兵衛家譜

養父：庄兵衛（元禄4死・80歳／50石）、◎庄兵衛（45歳／実父ハ江州西村吉右衛門／延宝5召出・広間、貞享2徒目付、元禄4跡目、同5鉄砲櫓役、同15広間小頭役／50石）、子：滝右衛門、西村亀之助

・藤浪源助家譜

父：源助（貞享1死・53歳／80石）、◎源助（34歳／貞享1跡目・鷹役、元禄9広間、同13徒目付／50石）、子：大吉、久馬之助／石塚左五右衛門

・山中六弥家譜

父：勘四郎（76歳／元禄9隠居／70石→隠居後2人扶持）、◎六弥（33歳／貞享5召出・鷹預、元禄9家督・鷹役・広間／50石）、子：辰之助／数右衛門、片山文助、徳兵衛

【役人】

・長岡元甫家譜

父：元甫（元禄11死・77歳／150石5人扶持）、◎元甫（43歳／天和3療治学文無油断相勤候様二、

元禄1召出、同6家督／150石）、子：復弥／直之助、門弥

・六人部茂庵家譜

曾祖父：寿仙（明暦3死・75歳／100石）、祖父：玄東（貞享3死・77歳／200石）、養父：正悦（元禄10死・48歳／200石）、◎茂庵（27歳／実ハ前吉田茂庵倅／貞享1外科稽古仕候様ニ、元禄10正悦名跡／100石）

・馬場彦太夫家譜

祖父：彦太夫（延宝6死・72歳／100石）、父：弥五太夫（実ハ当浅井与五左衛門弟／天和2死・37歳／100石）、◎彦太夫（27歳／天和3跡目・家中並、元禄6元服・家中・番入、同15鉄砲預／50石）／鍋太郎、廓門

・野原安右衛門家譜

◎安右衛門（68歳／古主藤堂和泉守様／寛文9召出・広間、寛文12代官役・訴訟、延宝2広間、同5目付役、元禄1作事所／50石）、子：彦九郎、宇平太

⑤「忠總公御代以来 和田五右衛門組士家譜（元禄十六癸未年九月）」[Kj 16-W-1]

・大津土左衛門家譜

祖父：土左衛門 ※忠隣奉仕（与三郎／寛文8死・87歳／200石）、父：土左衛門（武太夫／実ハ石川段右衛門嫡子、前土左衛門娘之子／元禄3死・53歳／300石）、◎土左衛門（44歳／延宝3召出・小姓、同6昌能付、同7大小姓、昌能死後表勤、貞享3御召武具預、元禄3跡目・奏者役、同6物頭役、同11加藤新五右衛門組肝煎役、同12旗奉行／300石）／守右衛門、藤波凉元、四郎右衛門、小寺郷助

・半田忠太夫家譜

祖父：忠太夫 ※忠隣奉仕（慶安4死・72歳／260石）、父：忠太夫（万治3死・50歳／260石）、◎忠太夫（57歳／万治2召出・小姓、跡目、寛文6大小姓、延宝1奏者役、天和1物頭役、元禄10山城国絵図御用／260石）、子：又右衛門／八郎五郎、小平次

・宮地庄左衛門家譜

祖父：庄左衛門 ※忠世・忠隣奉仕（元和3死・65歳／150石）、父：庄左衛門（寛文1死・58歳／150石）、◎庄左衛門（58歳／寛文1家督・家中、同2召出・虎間、同4大小姓、延宝8奏者役、貞享1物頭役／200石）、子：次郎八郎、吉次郎／源五左衛門、権右衛門、久左衛門、藤左衛門、源兵衛、弥五左衛門、源左衛門、横瀬弥右衛門

・浅井与五左衛門家譜（祖父ハ相模守忠隣公江奉仕）

父：与五左衛門（承応3死・53歳／150石）、◎与五左衛門（62歳／明暦1家督、寛文4代官役、天和1郡代奉行役、延宝5検地御用、元禄10山城国絵図御用、同15物頭役／200石）、子：弥三之丞、虎之助、吉三郎、鍋四郎、監之助、守弥／佐次右衛門、馬場弥五太夫

・寺田半兵衛家譜

祖父：半兵衛 ※忠隣奉仕（寛永9死・60歳）、父：勘之丞（実ハ半兵衛甥／雲斎／元禄2死・76歳／200石）、◎半兵衛（48歳／天和1召出・虎間、貞享1家督・家中／200石）、子：数之助／与太夫、弥五右衛門、神尾治兵衛、長尾三郎助、三右衛門

・山崎五郎太夫家譜

曾祖父：六郎右衛門 ※家成・康通ヨリ（一ト／寛永9死・67歳／300石）、祖父：五郎太夫 ※家成奉仕（承応2死・59歳／300石）、父：五助（74歳／休嘉／元禄15隠居／200石→2人扶持）、◎五郎太夫（33歳／元禄1召出・虎間、同5大小姓、元禄15家督・家中／200石）、子：金五郎／治兵衛、治兵衛、源太夫、源五郎、初之助、政之丞、九右衛門

・松井郷右衛門家譜

祖父：久兵衛 ※康通ヨリ（元和9年死・56歳／150石）、父：久兵衛（貞享2年死・69歳／155石）、◎郷右衛門（38歳／延宝7召出・小姓、天和2髪番・引出預け、貞享1元服・奥之間詰、同年家督、元禄7家中、同15砂留役・家中兼／155石）、子：沢之丞、久馬之丞、亀之助／兵右衛門、弥右衛門、長四郎

- ・山路右近右衛門家譜（先祖石川伊織同前）
父：十郎太夫（延宝6死・54歳）、◎右近右衛門（35歳／延宝6跡目、天和2小姓、元禄6元服・奥之間、同7家中／150石）✂ 内蔵之丞
 - ・小泉次郎右衛門家譜
父：次郎右衛門（天和4死・57歳、200石）、◎次郎右衛門（39歳／貞享1跡目・虎間、元禄2大小姓、元禄13家中／150石）、子：小市郎、小太郎、助之丞✂ 小嶋長右衛門
 - ・松村文太夫家譜
祖父：左助 ※堀尾忠晴奉仕（延宝3死・59歳）、父：左助（元禄1隠居／300石）、父弟：治部助（元禄1死・32歳／300石）、兄：半弥（24歳／元禄16病氣ニ付知行指上／150石）、◎文大夫（19歳／元禄16家中／150石）✂ 八郎右衛門、柳斎、弥五太夫、伊兵衛
 - ・近藤新五左衛門家譜（先祖近藤左衛門同前）
祖父：与右衛門 ※忠隣奉仕（明暦3死・77歳／100石）、父：新五左衛門（延宝1死・53歳／100石）、◎新五左衛門（48歳／寛文11召出・小姓、延宝1跡目、同3元服・大小姓、天和1家中／100石）、子：伝之丞、十三郎、左伝次✂ 儀右衛門、勝太夫、坂口源太郎、勘八郎、掛下三太夫
 - ・牛尾伊右衛門家譜
養父：太兵衛（延宝5死・74歳／100石）、◎伊右衛門（55歳／実ハ南都西庄作之進弟／寛文9召出・広間、同11虎間、同12養子、延宝5跡目、天和3家中／100石）、子：清太夫✂ 兵太郎、熊右衛門
 - ・井口茂太夫家譜
祖父：作左衛門 ※康通ヨリ（元和1死・36歳／5石3人扶持）、父：弥太夫（一友／元禄4死・83歳／100石）、◎茂太夫（50歳／延宝1召出・虎間、貞享1家督・家中／100石）✂ 市郎右衛門、佐五左衛門、常右衛門、貞右衛門、横山辰右衛門
 - ・安養寺源六郎家譜
祖父：大西平兵衛（後安養寺／寛文9死・63歳／50石3人扶持）、養父：与一郎（元禄14死・60歳／100石）、◎源六郎（37歳／実ハ坪井七左衛門次男／元禄1養子、同5召出・広間、同7勝之付、同9虎間、同14跡目・定江戸家中／100石）、子：鉄次郎✂ 大西権兵衛
 - ・小林勘五郎家譜
父：武左衛門（寛文10死・52歳／50石）、◎助五郎（63歳／万治3召出・広間、寛文10跡目、延宝2大津米払、同3徒目付、同4大津米払、同5代官役、天和1土蔵役、元禄15家中／50石）、子：郡平✂ 浅田勘兵衛、小林孫平次
- 【詰衆】
- ・加藤伴内家譜（先祖加藤武兵衛同前）
父：源五兵衛（80歳／元禄5隠居、持筒預・郷廻之者支配其俣／250石→隠居料10石）、◎伴内（36歳／貞享3召出・虎間、元禄2大小姓、同6納戸役、同12家督・奏者役／250石）、子：千代鍋✂ 山三郎、伝蔵、平岩文左衛門、角太夫
 - ・松田又左衛門家譜（前方加々爪土佐守様ニ罷在、此節ハ名字斎藤ト申候）
父：助之進（元禄13死・70歳／200石）、◎又左衛門（36歳／元禄3召出・虎間、同5勝之付、同7永暇、同8帰参、同9大小姓、同11表勤・留守居役見習、同13跡目・留守居役・江戸足輕支配／200石）✂ 又一郎
 - ・黒田寿軒家譜
祖父：勝安（万治2死・71歳／200石10人扶持、帰参後30人扶持）、父：牧仙（84歳／元禄8隠居／200石10人扶持、隠居後10人扶持）、◎寿軒（52歳／実ハ天野三五太夫弟／貞享4召出・養子・江戸罷下、元禄8家督／200石）、玄通（牧仙養子、貞享2死・37歳）、子：甫庵✂ 牛之丞
 - ・平岩源助家譜（先祖之儀養父安太夫ヨリ書出之）
◎源助（39歳／実ハ近藤左衛門弟／延宝6召出・小姓、同7昌能付、天和2表召返・奥間、同3納戸役、貞享4養子、元禄3奏者役、同5用人役、同9家中、同11奏者役、同12勝之用人役／150石）✂

・徳森伝次右衛門家譜

曾祖父：伝次郎 ※忠世・忠隣奉仕（寛永1死・55歳／200石）、祖父：久左衛門（寛文7死・67歳／200石）、父：久左衛門（68歳／元禄7永暇／250石）、◎伝次右衛門（27歳／元禄5召出・小姓、同12用人役／150石）ノ 伊兵衛、八十郎、大三郎、秋山常安

・豊泉庄太夫家譜

祖父：庄太夫 ※家成ヨリ（寛永9死・62歳／150石）、父：庄太夫（元禄12死・80歳／150石）、◎庄太夫（41歳／延宝6召出・小姓、天和3大小姓、元禄2納戸役、同5家督、同12大目付役・数寄道具預／150石）ノ 孫兵衛、梅岩寺住職微相、丹庵、右衛門八郎、松山治左衛門、水嶋慶益、李之助

・天野藤内家譜

高祖父：刑部左衛門 ※忠世・忠隣奉仕（寛永17死・88歳／550石）、曾祖父：角右衛門（元和3死・齢不知／250石）、祖父：三左衛門（寛文3死・51歳／250石）、父：三左衛門（天和1死・40歳／250石）、養父：主馬進（36歳／実ハ父三左衛門養子、青山大膳亮殿内堀尾外記三男／元禄6知行指上願／250石）、◎藤内（26歳／実ハ主馬進弟／元禄6家中並、同8小姓／150石）ノ 水右衛門

・早崎土太夫家譜

父：半左衛門（延宝1死・56歳／60石）、◎土太夫（59歳／万治2召出、寛文12虎間並、延宝1家督、天和2高嶋磯右衛門跡役／150石）、子：庄三郎ノ 長太夫、半八郎、松井清兵衛

・滝見源蔵家譜（先祖之儀父助右衛門ヨリ書出之）

◎源蔵（47歳／寛文12年召出・小姓、延宝6昌能付、同7大小姓、腰物・数寄道具預、髪番、昌能死後表勤、元禄5召武具預、同8奥間、引出預・薬役、同15奏者役／100石）、子：庄三郎（元禄12死・6歳）

・松井源兵衛家譜

◎源兵衛（67歳／古主高力左近殿／延宝2昌能召出・虎間、天和2より勝之奉仕、天和3奥様奉仕／100石）、子：源吉

・加藤金五右衛門家譜

祖父：清右衛門 ※堀尾忠晴奉仕（慶安3死・60歳）、養父：三郎左衛門（貞享1死・60歳）、◎金五右衛門（43歳／実芦川権之丞弟／天和2養子、貞享1遺跡・家中、同4祐筆所、元禄11祐筆所頭取役／100石）

・佐本五郎左衛門家譜

父：惣右衛門（万治3死・65歳／13石3人扶持）、◎五郎左衛門（59歳／万治3召出、昌能付、寛文10虎間、延宝2大小姓、腰物・具足・数寄道具預役、同7納戸役、天和2勝之奉仕、貞享1腰物・数寄道具預役、元禄7定江戸赦免・家中、同13お大付・江戸引越・婚礼供／100石）、子：又八郎、嘉内、左源次、石之助ノ 権四郎、新助

・林武次右衛門家譜

祖父：弥五右衛門 ※堀尾忠晴奉仕（正保2死・齢不知）、養父：武次右衛門（元禄9死・52歳／100石）、◎武次右衛門（23歳／実ハ市橋佐太夫次男／元禄8召出・虎間並・勝之付・江戸罷下、同9養子・小姓仲間番入・跡目、同10家中・元服、家中・番入、元禄12勝之虎間／80石）

・菅屋平六郎家譜

祖父：庄右衛門（寛文6死・73歳／20石3人扶持）、父：市郎左衛門（元禄2死・72歳／50石）、◎半六郎（43歳／延宝7召出・広間、元禄2家督・右筆所役／70石）、子：三郎兵衛、中路新五郎ノ 徳左衛門、中路由五郎

・今田勝助家譜（父ハ今田九兵衛ト申浪人ニテ京都ニ罷在死）

◎勝助（46歳／延宝5憲之召出・広間、貞享2虎間並・書物預／70石）、子：勝之丞

・高嶋大右衛門家譜

父：磯右衛門（貞享2死・67歳／150石）、◎大右衛門（30歳／貞享4召出・馬稽古、元禄6跡目、同13虎間格／70石）ノ 磯右衛門、紋之丞、青山喜六郎

・間嶋団之進家譜

祖父：春佐（万治3死・齢不知／金10両4人扶持）、父：彦太郎（元禄14死・60歳／100石）、◎団之進（19歳／元禄11台所詰、同13祐筆所見習／50石）／長四郎

・神谷忠左衛門家譜（先祖神谷与右衛門同前）

◎忠左衛門（49歳／延宝3召出・広間、天和2徒目付、元禄3賄役／50石）、子：小次郎、三之丞【役人】

・新彦助家譜

養父：清右衛門（新長右衛門弟／元禄2死・76歳／100石）、◎彦助（45歳／実ハ新長右衛門次男／寛文10養子、同12召出・小姓、延宝6元服・大小姓、貞享1納戸役・奥間詰、元禄6大目付・数寄道具預、同12奉行役・百人組支配、同15郡代役／150石）、子：勝太郎

・岡田甚五右衛門家譜

祖父：善兵衛※康通ヨリ（正保1死・81歳／80石）、父：甚五右衛門（延宝1死・66歳／100石）、◎甚五右衛門（64歳／憲之召出・虎間奉公、延宝1家督、同3武具預役、貞享1町奉行役、元禄7作事奉行役、同10山城国絵図御用／150石）、子：小太夫、角弥、初太夫、岡之助／久家助之丞、清四郎、久米右衛門、六之助

・市川作右衛門家譜（先祖同姓数馬同前）

◎作右衛門（57歳／寛文2召出・小姓、寛文6元服、同7大小姓、同10家督、延宝8年納戸役、天和1大目付役・数寄道具預、貞享1広間支配・腰物預、同4永暇、元禄11帰参・家中、同12町奉行役／150石→帰参後100石）、子：三弥、友弥、清之進

・山脇八太夫家譜

祖父：八太夫（寛永14死・齢不知／100石）、養父：八太夫（延宝9死・60歳／100石）、◎八太夫（45歳／実ハ石川近江守様御内鈴木又右衛門倅／寛文10養子、延宝1召出・小姓、同4大小姓、天和1家督、貞享1召武具預、同2家中、元禄12町奉行役／100石）、子：権八郎／星野源太夫

・生田兵左衛門家譜

父：新右衛門※堀尾忠晴奉仕（承応3死・58歳／150石）、◎兵左衛門（61歳／承応3家中並、寛文9代官役、延宝5検地御用、代官役、家中、元禄3代官役、同10代官役・山城国絵図御用／100石）、子：勘弥／八十郎、十助、佐六郎

・西村孫右衛門家譜（先祖西村彦兵衛同前）

◎孫右衛門（52歳／寛文12憲之召出・勘定所、元禄8知行蔵役／70石）

・香取半右衛門家譜

祖父：次郎兵衛（寛文1死・64歳／100石）、養父：半右衛門（元禄3死・65歳／100石）、◎半右衛門（38歳／実ハ当加藤善太夫弟／天和2養子、元禄3跡目・家中、同6代官役、元禄16郡代奉行役見習）、子：犬之助

・宇野長左衛門家譜

祖父：次郎右衛門（貞享3死・74歳／8石2人扶持）、父：与六郎（元禄16年死・68歳／50石）、◎長左衛門（37歳／延宝7召出・小僧、元禄6還俗、同5広間、同12徒目付役、同16跡目／50石）／奎兵衛、十右衛門、与左衛門、大嶋助九郎、甚吉、庭蔵主、金六郎、半弥

・高木弥五兵衛家譜

祖父：吉左衛門（延宝2死・72歳）、父：弥五兵衛（元禄13死・70歳／50石）、◎弥五兵衛（天和2召出・勘定所、元禄13跡目／50石）、子：善次郎／加平次、中路治兵衛、高町角右衛門

⑥『忠總公御代以来 淀・江戸 石川権兵衛・佐治清六郎・乗松十太夫・新松太郎・宮部友右衛門・板倉権六郎・生嶋佐右衛門・本間伊平太・谷禰庵・川崎奎左衛門・鹿野弥太右衛門・浅田勘六郎・奥村加助・原金平・池田利伯家譜（元禄十六癸未年九月）』[Kj 16-W-1]

・石川権兵衛家譜

曾祖父：助三郎康村※康通ヨリ（修理／寛永19死・82歳／1800石）、祖父：助三郎康俊（康村嫡子／修理／寛文8死・67歳／500石）、父：左兵衛重義（康俊次男／左門、権太夫、修理／延宝3死・42歳／500石）、兄：左兵衛康廣（重義嫡子／左内／貞享2年・25歳／500石）、◎権兵衛（30歳、

重義四男／貞享2召出・跡目・組外、元禄4小姓、同5大小姓、同6奏者役、同7家中、同12鉄門番、同16先乗役／300石）／ 助三郎、儀太夫、横田三郎兵衛、数右衛門、左中（後名字改平岩）、左平太、八郎右衛門、荒木三郎右衛門、六郎兵衛、六郎兵衛、段右衛門、七左衛門、孫二郎、与次太夫、十右衛門、大津土左衛門、勝兵衛、才三郎、貞右衛門

・佐治清六郎家譜

父：善左衛門孝好（清六郎／元禄10死・47歳／350石）、◎清六郎（19歳／元禄3無役、同10跡目・家中・組外、同11小姓、同15奏者役見習／350石）／ 七之助、善之丞、三郎、加藤次良九郎

・乗松十太夫家譜

祖父：与惣左衛門 ※忠隣ヨリ（寛文10死・75歳／200石）、父：与惣左衛門（元禄6年知行差上逼塞／200石）、◎十太夫（29歳／元禄6家中並／15人扶持〈父知行差上候故〉）／ 武助、角左衛門、牛尾清太夫

・新松太郎家譜

曾祖父：儀左衛門直房 ※堀尾吉晴へ父三左衛門奉仕・母奥局（丹三郎／承応1死・62歳／500石）、祖父：儀左衛門（左近右衛門、奎之助、素反／貞享2死・70歳／〔500石〕）、父：儀左衛門（元禄15死・51歳／500石）、◎松太郎（2歳／20人扶持）／ 権兵衛、弥右衛門、小源次、小野善左衛門、長兵衛、左近右衛門

・宮部友右衛門家譜

祖父：伝左衛門（明暦2死・62歳／80石）、父：伝左衛門（元禄6死・61歳／100石）、◎友右衛門（34歳／元禄5召出・広間、同8虎間／15石2人扶持）／ 市郎兵衛、文左衛門、左五兵衛（父伝左衛門嫡子、元禄6永暇）

・板倉権六郎家譜

祖父：五郎左衛門（明暦1死・71歳／80石）、父：弥次左衛門（元禄12死・53歳／50石）、◎権六郎（25歳／元禄12召出・虎間／10石2人扶持）／ 夏見半七郎、弥助、吉見与五兵衛、大九郎、門三郎、猶右衛門

・生嶋佐右衛門家譜（六人部ノ家譜、当六人部茂庵ヨリ書出之）

養父：佐右衛門（80歳、六人部寿仙次男、生嶋ハ母方ノ名字也／素扇／元禄9隠居／200石→養子平太夫永暇後30人扶持）、◎佐右衛門（21歳／実ハ石川近江守様御内生嶋兵左衛門二男／元禄12養子、同13召出・虎間／10石2人扶持）／ 中山閑入、兵左衛門

・本間伊平太家譜（父本間孫左衛門、若年ノ時分安藤右京亮殿ニ祐筆役相勤罷有其後浪人於京都死）

◎伊平太（51歳／延宝1召出・広間・定江戸、元禄9虎間並・書物預／12石2人扶持）、子：郡助、小五郎

・谷禰菴家譜（父は平右衛門ト申候、立花飛騨守殿ニ罷有死）

◎禰菴（40歳／京都医術稽古、元禄11召出・針立・虎間格／10石2人扶持）

【江戸】

・川崎奎左衛門家譜

◎奎左衛門（43歳／元禄16召出・家中並、20人扶持）、子：良恩、吉十郎

・鹿野弥太右衛門家譜

父：甚五左衛門（貞享1死・79歳／100石）、源之助（甚五左衛門／元禄7永暇／100石）、◎弥太右衛門（44歳／延宝8召出・広間・昌能付、天和2勝之へ奉仕、元禄1虎間、同13大小姓／15石3人扶持）／ 主馬之助、源之助、角三郎、百人兵衛

・浅田勘六郎家譜（父浅田勘兵衛并別レ等之儀ハ当勘兵衛ヨリ書出之）

◎勘六郎（41歳／貞享1召出・物書所、元禄5勝之広間、同12大奥様付、同13虎間格〈永ク可相勤〉／17石）、子：勘太郎、幾蔵

・奥村加助家譜

父：意斎（寛文8死・55歳）、◎加助（55歳／寛文7召出・十日番、寛文10客道具諸事預、延宝3昌能広間、天和2徒目付、勝之奉仕、元禄5芳運院〔昌能妻〕付、同14虎間格／12石2人扶持）／ 又右衛門、小右衛門、意斎、安之丞

- ・ 原金平家譜（前方松平隼人殿罷有候処暇ヲ取、後市川数馬方ニ罷有）
父：左次兵衛（67歳／天和2勝之奉仕、諸事買物見届役、元禄7武具土蔵預・紙蔵・畳蔵役、同10勝之供廻支配／9石）、◎金平（32歳／貞享4召出・物書所、元禄13虎間格祐筆／9石）
- ・ 池田利伯家譜（父は池田半右衛門ト申候、近藤登之助殿ニ罷有二十一年以前死）
◎利泊（48歳／元禄1召出／12石3人扶持）、子：万之丞

4. おわりに

石川家の領知変遷を見ると、慶長5年（1600）の関ヶ原合戦後の美濃国大垣城5万石を皮切りとし、同14年に家督を継いだ忠總は、元和2年（1616）に豊後国日田（永山城）6万石、寛永10年（1633）に下総国佐倉城7万石、同11年に近江国膳所城7万石と、江戸幕府の全国統治過程において各地の城主を歴任した。忠總が慶安3年（1650）に死去すると、嫡子廉勝は先に没していたため、翌年、孫の2代憲之が兄弟への分知を経て伊勢国亀山城5万石に移されたが、寛文9年（1669）、さらに山城国淀城6万石となった。本稿で見た『家譜』は、憲之が淀城主をつとめたこの時期、元禄16年（1703）に作成された記録である。その後、憲之は嫡子昌能とその子勝之に先立たれたため、宝永3年（1706）に次男義孝が3代として跡を継いだが高永7年に死去し、勝之の子總慶が4代となり、正徳元年（1711）に備中国松山城6万石、さらに延享元年（1744）には再び伊勢国亀山城6万石に移され、ここで廃藩置県を迎えることになった。

このように譜代大名として、目まぐるしい城地変遷を辿る石川家だったが、元禄16年の時点で、すでに5度の転封を経ていた。各地での新規召抱えに加え、石川家特有の事情としては、大久保家出身の初代忠總や、堀尾家の名字相続を期待された2代憲之の下で、大久保家・堀尾家にルーツを持つ者も多く集まっていた。こうした度重なる転封と多様な出自の家臣団を前提に、『家譜』編纂の過程で、忠總を初代とする記録作成方針が鮮明に打ち出された点は改めて位置づけておくべきだろう。そして、このような記録作成の方針は、家臣の系譜意識や帰属意識にも少なからぬ影響を及ぼしたのではないだろうか。

九州大学所蔵「石川家文書」の来歴については不詳な点が多く、今回の元禄16年『組士家譜』が、石川家の系譜・先祖書・法号帳や郷村高辻帳・領知目録写などの記録とともに資料群をなして伝来した経緯も明らかにされていない。石川家における記録管理体制とあわせ、引き続き検討を重ねていきたい。

〔謝辞〕

筆者が『家譜』の存在を知ったのは、当該「石川家文書」の研究に先鞭を着けられた福田千鶴先生（附属図書館副館長・同付設記録資料館館長）からのご教示に拠り、あわせて関連資料もご提供いただいた。深く学恩に感謝します。また、資料の利用にあたっては、山根泰志氏（附属図書館収書整理課）、坂本卓也氏（同付設記録資料館）からご高配を賜り、分析の過程では、上川直生氏（大学院人文科学府博士後期課程）から近世大名家中における系譜編纂につきご教示を得た。

〔付記〕

本研究は、JSPS 科研費25K16405の助成を受けたものである。



本著作の著作権は著者に帰属します。注があるものを除いて、本著作の内容物はクリエイティブ・コモンズ表示－非営利－改変禁止 4.0 国際 (CC BY-NC-ND 4.0) ライセンスの下に提供されています。
<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

